

News Release

2018年8月3日

昭和産業株式会社 平成31年3月期第1四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（社長：新妻一彦）の平成31年3月期第1四半期連結決算は、売上高64,520百万円、経常利益3,229百万円となりました。平成31年3月期通期連結業績予想については、売上高260,000百万円、経常利益8,500百万円を見込んでおります。

【平成31年3月期第1四半期連結決算】

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、為替や株価の不安定な動き等により、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」を策定し、その実現に向けた1st Stageと位置付ける「中期経営計画17-19」を昨年4月よりスタートいたしました。5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策の推進に努めております。

当第1四半期連結累計期間では、「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」におきましては、本年4月2日付でカルビー株式会社よりガーデンベーカリー株式会社の発行済株式の66.6%を取得し、連結子会社といたしました。当社は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン向けに小麦粉・ミックス等の原料供給から冷凍パン生地の製造、焼成までの一貫体制を有しており、さらにガーデンベーカリー株式会社とその子会社タワーベーカリー株式会社を含めた相互連携を強化することで、競争力のある商品の開発と生産性の向上を図ってまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は64,520百万円と前年同期に比べ6,241百万円（10.7%）の増収となりました。営業利益は2,695百万円と前年同期に比べ792百万円（41.6%）の増益、経常利益は3,229百万円と前年同期に比べ850百万円（35.7%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,214百万円と前年同期に比べ641百万円（40.8%）の増益となりました。

【平成31年3月期連結業績予想】

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、平成30年5月11日に公表した平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上

〈本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先〉

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当：大内

〒101-8521 東京都千代田区内神田2丁目2番1号 TEL：03-3257-2042